

## 参考資料2

令和7年12月23日  
青森県医療審議会

## がん対策

施策の方向性(大項目)		目標					
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
1 がんの予防	がんを予防するための生活習慣の改善	① 年齢調整罹患率	がん登録	胃がん (男) 73.7 (女) 25.4 大腸がん (男) 74.9 (女) 42.1 肺がん (男) 66.3 (女) 20.3 乳がん 84.2 子宮がん 27.6 (H25年)	胃がん (男) <u>69.0</u> (女) <u>25.3</u> 大腸がん (男) <u>84.3</u> (女) <u>50.1</u> 肺がん (男) <u>64.4</u> (女) <u>26.7</u> 乳がん <u>100.9</u> 子宮がん <u>50.1</u> (R3年)	減少 (R5年度)	胃がん (男)改善(目標達成) (女)改善(目標達成) 大腸がん (男)悪化 (女)悪化 肺がん (男)改善(目標達成) (女)悪化 乳がん 悪化 子宮がん 悪化
	② 成人喫煙率(男性)の減少	青森県県民健康・栄養調査	男性34.9% (H28年度)	男性35.4% (R4年度)	男性23%以下 (R4年度)		悪化

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
1 がんの予防	がんを予防するための生活習慣の改善	③ 成人喫煙率(女性)の減少		女性11.5% (H28年度)	女性12.0% (R4年度)	女性5%以下 (R4年度)	悪化
		④ 未成年の喫煙率	青森県未成年者喫煙飲酒状況調査	中学1年生 男性 0.2%、 女性 0.2% 高校3年生 男性 1.1%、 女性 0.3% (H27年度)	中学1年生 男性 0.2%、 女性 0% 高校3年生 男性 0.9%、 女性 0.7% (R元年度)	0% (R4年度)	中学1年生 (男)変化なし(目標未達成) (女)改善(目標達成) 高校3年生 (男)改善(目標未達成) (女)悪化
		⑤ 妊婦の喫煙率	青森県妊婦連絡票	2.9% (H28年度)	1.6% (R5年度)	0% (R4年度)	改善 (目標未達成)
		⑥ 受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査	県庁舎 83.3% 市町村庁舎 64.1% 文化施設 91.7% 教育・保育施設 97.7% 医療機関 86.6% 事業所(50人以上) 30.4% 事業所(50人未満) 41.7% (H27年度)	県庁舎 100% 市町村庁舎 100% 文化施設 96.6% 教育・保育施設 99.2% 医療機関 99.3% 事業所(50人以上) 57.1% 事業所(50人未満) 71.7% (R3年度、文化施設のみR元年度)	100% (R4年度)	県庁舎 改善(目標達成) 市町村庁舎 改善(目標達成) 文化施設 改善(目標未達成) 教育・保育施設 改善(目標未達成) 医療機関 改善(目標未達成) 事業所(50人以上) 改善(目標未達成) 事業所(50人未満) 改善(目標未達成)
		⑦ 野菜と果物の摂取量の増加	青森県県民健康・栄養調査	①野菜摂取量の平均値 (20歳以上) 300グラム (平成29年度) ②果物摂取量100グラム未満の者の割合 56.5% (H22年度)	①野菜摂取量の平均値 (20歳以上) 279.5グラム (R4年度) ②果物摂取量100グラム未満の者の割合 66.0% (R4年度)	①350グラム ②28% (R4年度)	①悪化 ②悪化

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
1 がんの予防	がんを予防するための生活習慣の改善	⑧ 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40グラム以上、女性20グラム以上の者)の割合の減少	市町村国保特定健康診査データ	男性 <u>32.4%</u> 女性 <u>19.4%</u> (H27年度)	男性 <u>31.5%</u> 女性 <u>21.8%</u> (R4年度)	男性 <u>26.7%</u> 女性 <u>14.4%</u> (R4年度)	男性:改善(目標未達成) 女性:悪化
		⑨ 運動習慣者の割合の増加	青森県県民健康・栄養調査	20歳～64歳 <u>男30.9%</u> <u>女25.0%</u>  65歳以上 <u>男42.6%</u> <u>女37.8%</u> (H22年度)	20歳～64歳 <u>男16.1%</u> <u>女14.4%</u>  65歳以上 <u>男26.5%</u> <u>女24.3%</u> (R4年度)	20～64歳 男性40% 女性35%	20～64歳 男性:悪化 女性:悪化  65歳以上 男: <u>悪化</u> 女:悪化

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
2 がんの早期発見	がんを早期発見・早期治療するための検診率等の増加	⑩ がんの75歳未満年齢調整死亡率	国立がん研究センター	93.3 (H28年)	84.0 (R4年)	81.3 (R4年度)	改善 (目標未達成)
		⑪ 検診受診率 ○胃、大腸、肺がんは、各検診を過去1年以内に受けた者の数／調査対象者数(40歳～69歳) ○乳がんは、乳がん検診を過去2年以内に受けた者の数／調査対象者数(40歳～69歳) ○子宮(頸)がんは、子宮(頸)がん検診を過去2年以内に受けた者の数／調査対象者数(20歳～69歳)	国民生活基礎調査	胃がん (男) 48.9% (女) 38.9% 大腸がん (男) 48.9% (女) 41.6% 肺がん (男) 55.0% (女) 46.6% 乳がん 41.6% 子宮(頸)がん 40.9% (H28年)	胃がん (男) 49.6% (女) 41.1% 大腸がん (男) 53.5% (女) 48.7% 肺がん (男) 57.0% (女) 53.6% 乳がん 47.1% 子宮(頸)がん 43.6% (R4年)	50%以上 (R5年度)	胃がん (男)改善(目標未達成) (女)改善(目標未達成) 大腸がん (男)改善(目標達成) (女)改善(目標未達成) 肺がん (男)改善(目標達成) (女)改善(目標達成) 乳がん 改善(目標未達成) 子宮がん改善(目標未達成)
		⑫ 市町村がん精密検査受診率 (胃・大腸・肺・乳は40～74歳、子宮頸は20～74歳)	地域保健・健康増進事業報告	胃がん <u>79.6%</u> 大腸がん <u>76.9%</u> 肺がん <u>85.0</u> 子宮(頸)がん <u>83.3%</u> 乳がん <u>90.8%</u> (H26年度)	胃がん <u>79.5%</u> 大腸がん <u>72.8%</u> 肺がん <u>88.6%</u> 子宮(頸)がん <u>83.2%</u> 乳がん <u>92.6%</u> (R4年度)	90%以上 (R5年度)	胃がん 悪化 大腸がん 悪化 肺がん 改善(目標未達成) 子宮(頸)がん 悪化 乳がん 改善(目標達成)

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
2 がんの早期発見	がんを早期発見・早期治療するための検診率等の増加	⑬ 精度管理・事業評価実施割合(「事業評価のための市町村チェックリスト」の項目を8割以上実施しているとした市町村の割合)	事業評価のためのチェックリスト回答状況	胃がん <u>25.0%</u> 大腸がん <u>25.0%</u> 肺がん <u>25.0%</u> 子宮(頸)がん <u>30.0%</u> 乳がん <u>27.5%</u> (H28年)	胃がん 90.0% 大腸がん 90.0% 肺がん 92.5% 子宮頸がん 87.5% 乳がん 90.0% (R5年度)	100% (R5年度)	胃がん改善(目標未達成) 大腸がん改善(目標未達成) 肺がん改善(目標未達成) 子宮頸がん改善(目標未達成) 乳がん改善(目標未達成)
		⑭ 科学的根拠に基づく検診実施割合	青森県	100% (H28年度)	100% (R5年度)	100% (R5年度)	変化なし (目標達成)
3 がん医療の充実	がん医療の充実を図るために医療提供体制の均てん化等、がん登録の充実	⑮ がん診療連携拠点病院充足率(拠点病院の整備された二次医療圏の割合)	青森県	83.3% (5/6圏域) (H29年度)	83.3% (5/6圏域) (R5年度)	100% (R5年度)	変化なし (目標未達成)
		⑯ がん関係認定看護師数(拠点病院におけるがんに関する専門知識を有する看護師数)	拠点病院現況報告	44人 (H28年度)	83人 (R5年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)
		⑰ 拠点病院でがん診療に携わる医師の緩和ケア研修修了割合	厚生労働省	89.3% (H28年度)	89.8% (R5年度)	100% (R5年度)	改善 (目標未達成)
		⑱ 緩和ケア体制整備病院数(がん診療連携拠点病院以外で緩和ケア病棟又は緩和ケアチームありとした病院数)	青森県医療機能調査	17施設 (H28年度)	19施設 (R4年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
3 がん医療の充実	がん医療の充実を図るための医療提供体制の均てん化等、がん登録の充実	⑯ 緩和ケア実施訪問看護ステーション数（「麻薬を用いた疼痛管理」に対応している訪問看護ステーションの数）	青森県介護サービス情報	74施設 (H28年度)	106施設 (R5年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)
		⑰ がん登録等の推進に関する法律第19条に基づきがん情報等を利用した市町村の割合	青森県	— (H30年度)	40% (R5年度)	100% (R5年度)	改善 (目標未達成)
		⑱ がん登録のDCN割合、DCO割合(上皮内がんを除く。)	青森県	DCI(DCN)割合 <u>7.7%</u> DCO割合 <u>1.9%</u> (H25年)	DCI割合 <u>3.3%</u> DCO割合 <u>1.8%</u> <b>(R2年)</b>	DCI割合 5%以下 DCO割合 2%以下 (R5年度)	改善 (目標達成)

脳卒中対策						
施策の方向性(大項目)	目標					
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)
発症予防及び再発予防のための県民への啓発	① 特定健診の実施率	厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ (毎年)	45.1% (H27年度)	53.5% (R5年度)	68% (R5年度)	改善 (目標未達成)
	② 高血圧症有病者(収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上もしくは服薬者)のうち、服薬していない者の割合	青森県 市町村国保特定健康診査データ (毎年)	12.0% (H26年度)	13.6% (R5年度)	減少 (R5年度)	悪化
	③ メタボリックシンдро́м該当者及び予備群の割合	厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ (毎年)	26.6% (H27年度)	31.0% (R5年度)	減少 (R5年度)	悪化
	④ 特定保健指導の実施率	厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況に関するデータ (毎年)	23.3% (H27年度)	31.0% (R5年度)	45%以上 (R5年度)	改善 (目標未達成)
症状出現時の速やかな救急要請、搬送と専門的な診療が可能な体制	⑤ 救急救命士数	総務省 救急・救助の現況 (毎年)	422人 (H28.4.1現在)	552人 (R5.4.1現在)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
進行度に応じたり ハビリテーション が可能な体制		⑥ リハビリテー ションが実施可能 な医療機関数	東北厚生局 診療報酬施設基 準(毎年)	95施設 (H29.8.1現在)	90施設 (R6.7.1現在)	増加 (R5年度)	悪化
		⑦ 脳卒中患者に 対するリハビリ テーションの実施 件数	厚生労働省 NDB(ナショナル データベース) (毎年)	16,175件 (H27年度)	[ 10,421件 (R4年度) ]  11,314件 (R5年度)	増加 (R5年度)	悪化
在宅療養が可能 な体制		⑧ 退院患者平均 在院日数	厚生労働省 患者調査 (3年毎)	127.8日 (H26)	70.7日 (R5)	減少 (R5年度)	改善 (目標達成)
		⑨ 在宅等生活の 場に復帰した患者 の割合	厚生労働省 患者調査 (3年毎)	48.2% (H26)	45.0% (R2)	増加 (R5年度)	悪化

心筋梗塞等の心血管疾患対策

施策の方向性(大項目)	小項目	目標					
		目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
発症予防及び再発予防のための県民への啓発	① 禁煙外来を行っている医療機関数	東北厚生局 診療報酬施設基準(毎年)	150件 (H29年7月)	154件 (R4年4月)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)	
	② 高血圧症有病者(収縮期血圧140mmhg以上、または拡張期血圧90mmhg以上もしくは服薬者)のうち、服薬していない者の割合	青森県 市町村国保特定健康診査データ (毎年)	23.2% (H27年度)	23.6% (R5年度)	減少 (R5年度)	悪化	
	③ 脂質異常症有病者(中性脂肪150mg/dl以上、又はHDL40mg/dl未満又はLDL140mg/dl以上もしくは服薬者)のうち服薬していない者の割合	青森県 市町村国保特定健康診査データ (毎年)	58.5% (H27年度)	29.7% (R5年度)	減少 (R5年度)	改善 (目標達成)	
	④ 糖尿病有病者(血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上であるか、インスリン又は服薬治療している者)及び予備群(血糖値110mg/dl以上126mg/dl未満又はHbA1c6.0%以上6.5%未満の者(服薬者を除く))の者の割合	青森県 市町村国保特定健康診査データ (毎年)	33.9% (H27年度)	33.5% (R5年度)	減少 (R5年度)	改善 (目標達成)	

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
発症予防及び再発予防のための県民への啓発		⑤ 喫煙率(男性)	青森県 県民健康・栄養調査(5年毎)	男性 36.1% (H22年)	男性 35.4% (R4年)	男性23%以下 (R5年度)	改善 (目標未達成)
		⑥ 喫煙率(女性)		女性 7.9% (H22年)	女性 12.0% (R4年)	女性 5%以下 (R5年度)	悪化
発症後、速やかに救命処置の実施と搬送が可能な体制		⑦ 急性心筋梗塞(ST上昇型心筋梗塞)患者の発症から来院までの時間	青森県 心血管疾患対策協議会調べ	中央値:160分 (H29年)	中央値:166分 (R5年)	短縮 (R5年度)	悪化
		⑨ 心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数		総務省 救急・救助の現況	18件 (H27年)	18件 (R5年)	増加 (R5年度)  <span style="color:red;">変化なし (目標未達成)</span>
発症後、速やかに疾患に応じた専門的診療が可能な体制		⑩ 急性心筋梗塞に対し、症状発現後12時間以内に来院し、来院から90分以内にバルーンカテーテルによる責任病変の再開通が達成された件数	青森県 心血管疾患対策協議会調べ	371件中261件 (H29年) 参考:70.4%	405件中235件 (R5年) 参考:58.0%	増加 (R5年度)	悪化

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
合併症予防や在宅復帰を目的とした心血管疾患リハビリテーションが可能な体制		⑪ 心臓リハビリテーションが実施可能な医療機関数	東北厚生局 診療報酬施設基準 (毎年)	7施設 (H28年3月)	13施設 (R5年4月)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)
再発を予防するための体制		⑫ 在宅等生活の場に復帰した患者の割合 ※虚血性心疾患患者のみ	厚生労働省 患者調査 (3年毎)	90.6% (H26年)	89.4% (R2年)	増加 (R5年度)	悪化
共通		⑬ 虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率	厚生労働省 人口動態統計特殊報告 (5年毎)	男性 33.2% 女性 10.4% (H27年)	男性 57.0% 女性 20.8% (R2年)	減少 (R5年度)	悪化

糖尿病対策	
-------	--

施策の方向性(大項目)	小項目	目標					
		目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
1 健康あおもり2 1(第2次)と足並みをそろえた糖尿病予防対策の推進	健康づくりのための生活習慣の改善	① 適正体重を維持している者の増加	青森県県民健康・栄養調査	20～60歳代の男性の肥満者の割合 <u>41.2%</u> 40～60歳代の女性の肥満者の割合 <u>24.8%</u> (H28年)	20～60歳代男性 <u>41.5%</u> 40～60歳代女性 <u>34.6%</u> (R4)	20～60歳代の男性の肥満者の割合34.0% 40～60歳代の女性の肥満者の割合19.0% (R5年度)	悪化
		② 肥満傾向にある子どもの割合の減少	青森県学校保健調査	13.0% (H29年度)	16.7% (R5年度)	10.0% (R5年度)	悪化
	メタボリックシンドロームに関する普及啓発	③ メタボリックシンдро́мの該当者及び予備群の減少	厚労省 特定健診・特定保健指導の実施状況	26.6% (H27年度)	31.1% (R5年度)	20.0% (R5年度)	悪化
	保険者による特定健診・特定保健指導受診率の向上と健診事後指導の着実な実施	④ 特定健診・特定保健指導の実施率の向上	厚労省 特定健診・特定保健指導の実施状況	特定健診の実施率 <u>45.1%</u> 特定保健指導の実施率 <u>23.3%</u> (H27年)	特定健診の実施率 <u>53.5%</u> 特定保健指導の実施率 <u>31.0%</u> (R5年度)	特定健診の実施率 68%以上 特定保健指導の実施率 45%以上 (R5年度)	改善 (目標未達成)
2 患者の症状に応じた適切な医療が提供される体制の構築		⑤ 市町村版糖尿病性腎症重症化予防プログラム作成数の増加	がん・生活習慣病対策課調べ	1市 (H29年9月現在)	40市町村 (R6年3月現在)	40市町村 (R5年度)	改善 (目標達成)
		⑥ 市町村版糖尿病性腎症重症化予防プログラムに参加する医療機関数の増加	がん・生活習慣病対策課調べ	60施設 (H29年9月現在)	319施設 (R6年3月時点)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)
3 患者の治療中断の防止対策		⑦ 糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	日本透析医学会 わが国の慢性透析療法の現状	213人 (H28年12月末現在)	128人 (R5年12月末現在)	185人 (R5年度)	改善 (目標達成)

**精神疾患対策**

施策の方向性(大項目)	小項目	目標					
		目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
多様な精神疾患 に対応できる医療 連携体制の構築	統合失調症	① 治療抵抗性統合失調症治療薬を用いた治療を行う医療機関数	クロザリル適正使用委員会ホームページ	5病院 (H29年)	7病院 (R5年度末)	増加 (R5年度末)	改善 (目標達成)
	認知症	② 認知症疾患医療センター数	高齢福祉保険課調べ	6病院 (H29年7月)	6病院 (R6年度末)	現状維持 (R5年度)	変化なし (目標達成)
		③ 認知症サポート医数		49名 (H28年度末)	146名 (R6年度末)	135名 (R5年度)	改善 (目標達成)
		④ 歯科医師認知症対応力向上研修受講者		60名 (H29年8月)	227名 (R6年度末)	267名 (R5年度)	改善 (目標未達成)
		⑤ 薬剤師認知症対応力向上研修受講者		390名 (H29年7月)	1,333名 (R6年度末)	958名 (R5年度)	改善 (目標達成)
		⑥ 看護職員認知症対応力向上研修受講者		118名 (H29年7月)	473名 (R6年度末)	450名 (R5年度)	改善 (目標達成)
	高次脳機能障害	⑦ 高次脳機能障害に関する相談機関	障がい福祉課調べ	1病院 (H29年)	2病院 (R5年度)	増加 (R5年度末)	改善 (目標達成)
	災害精神医療	⑧ DPAT(先遣隊及びローカルDPAT)等の緊急医療チーム数	障がい福祉課調べ	先遣隊3チーム (H29年)	先遣隊3チーム (R5年度)	維持・増加 (令和5年度)	変化なし (目標達成)

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	精神病床における入院需要(患者数)	⑨ 合計	630調査	3,610人 (H26年)	3,314人 (R5年度)	3,057人 (R5年度末)	改善 (目標未達成)
		⑩ 急性期(3ヶ月未満)		906人 (H26年)	848人 (R5年度)	881人 (R5年度末)	改善 (目標達成)
		⑪ 回復期(3ヶ月以上1年未満)		725人 (H26年)	698人 (R5年度)	744人 (R5年度末)	改善 (目標達成)
		⑫ 慢性期(1年以上)		1,979人 (H26年)	1,768人 (R5年度)	1,432人 (R5年度末)	改善 (目標未達成)
	精神病床における慢性期入院需要(患者数)	⑬ 65歳以上	レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)	1,154人 (H26年)	1,189人 (R5年度)	973人 (R5年度末)	悪化
		⑭ 65歳未満		825人 (H26年)	579人 (R5年度)	459人 (R5年度末)	改善 (目標未達成)
	地域移行における基盤整備量(利用者数)	⑮ 合計	レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)	—	—	524人 (R5年度末)	評価困難
		⑯ 65歳以上		—	—	291人 (R5年度末)	
		⑰ 65歳未満		—	—	233人 (R5年度末)	
	精神病床における退院率	⑱ 入院後3か月時点	レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)	68% (H26年)	63.2% (R3年度)	69%以上 (R5年度末)	悪化
		⑲ 入院後6か月時点		84% (H26年)	78.4% (R3年度)	86%以上 (R5年度末)	悪化
		⑳ 入院後1年時点		91% (H26年)	91.0% (R3年度)	92%以上 (R5年度末)	変化なし (目標未達成)

救急医療対策						
施策の方向性(大項目)	目標					
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)
適切な病院前救護活動が可能な体制の構築 (病院前救護体制)		① 心肺機能停止患者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	救急・救助の現況 (消防庁)	18件 (H27年)	18件 (R5年)	増加 (R5年度)
		② 常に救急救命士が救急車に乗車している救急隊の割合	救急・救助の現況 (消防庁)	73.3% (66/90) (H28年4月1日)	90.7% (78/86) (R5年4月1日)	81.5% (R3年)
重症度、緊急度に応じた医療が可能な体制の構築 (初期救急医療、入院救急医療、救命期医療)		③ 重症以上患者において、医療機関に4回以上受入の照会を行った件数及び割合	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査 (消防庁)	0.9% (62/7,161) (H27年)	0.9% (73/7,834) (R5年)	減少 (R5年度)
		④ 救急出動件数に占める軽症者の割合	救急・救助の現況 (消防庁)	41.4% (18,153/43,811) (H27年)	42.9% (23,445/54,672) (R5年)	減少 (R5年度)

災害医療対策	

施策の方向性(大項目)	小項目	目標					
		目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
1 災害時に拠点となる病院の体制構築	① 業務継続計画(BCP)に基づき、被災した状況を想定した訓練を実施した病院の割合	災害拠点病院現況調査(医療薬務課)	11.1% (1/9) (H29年4月)	60.0% (R5年度)	100% (R5年度)	改善 (目標未達成)	
2 災害時に拠点となる病院以外の病院の体制構築	② EMISの操作を含む研修・訓練を実施している病院の割合	EMIS入力訓練参加状況(医療薬務課)	68.6% (59/86) (H29年9月)	94.9% (R5年度)	100% (R5年度)	改善 (目標未達成)	
	③ 業務継続計画の策定率	医療薬務課調査	16.3% (14/86) (H29年9月)	29.9% (R4年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)	
3 県の体制構築	④ 災害時の医療チーム等の受入を想定し、保健所管轄区域や市町村単位等で地域災害医療対策協議会のコーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施回数	医療薬務課調査	0回 (H28年度)	0回 (R5年度)	二次医療圏毎に1回 (R5年度)	変化なし (目標未達成)	
	⑤ DMAT等の緊急医療チーム数	医療薬務課調査	21チーム (H29年3月)	24チーム (R5年度)	維持・増加 (R5年度)	改善 (目標達成)	
	⑥ DPAT(先遣隊及びローカルDPAT)等の緊急医療チーム数	障害福祉課調査	先遣隊3チーム (H29年3月)	先遣隊3チーム (R5年度)	維持・増加 (R5年度)	変化なし (目標達成)	

へき地医療対策						
施策の方向性(大項目)	小項目	目標				
		目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)
医療を確保する体制	へき地医療を支える総合診療、プライマリ・ケアを実施する医療従事者の確保	① 総合診療専門医の専攻医数	県医療薬務課調べ	0人 (H28年度)	10名 (R6.4.1時点)	増加 (R5年度)
		② 弘前大学地域医療早期体験実習参加者数	県医療薬務課調べ	6名 (H28年度)	15名 (R5年度)	増加 (R5年度)
		③ 県外大学医学生のへき地医療実習受入数	県医療薬務課調べ	3名 (H28年度)	5名 (R5年度)	増加 (R5年度)
		④ 無医地区等における保健活動延べ日数	県医療薬務課調べ	274日 (H28年度)	564日 (R5年度)	現状維持 (R5年度)
	へき地医療に従事する医療従事者が安心して勤務・生活できるキャリア形成支援	⑤ 弘前大学医師修学資金特別枠貸与者の町村部医療機関勤務延べ人数	県医療薬務課調べ	6名 (H28年度まで)	13名 (R6.5.1時点)	増加 (R5年度)
		⑥ へき地医療拠点病院からの医師派遣日数	県医療薬務課調べ	46日 (H28年度)	121日 (R5年度)	増加 (R5年度)
	へき地医療拠点病院からの代診医派遣等の機能強化	⑦ へき地医療拠点病院からの代診医派遣日数	県医療薬務課調べ	12日 (H28年度)	13日 (R5年度)	増加 (R5年度)
		⑧ 主要3事業(巡回診療、医師派遣、代診医派遣)の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合	県医療薬務課調べ	66.7% (R元年度)	100% (R5年度)	100% (R5年度)

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
診療を支援する体制	へき地医療拠点病院からの代診医派遣等の機能強化	⑨ 必須事業(上記主要3事業及び遠隔医療による支援)の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合	県医療薬務課調べ	83.3% (R元年度)	100% (R5年度)	100% (R5年度)	改善 (目標達成)
	情報通信技術(ICT)、ドクターへり等の活用	⑩ 遠隔医療等ICTを活用した診療支援の実施状況	県医療薬務課調べ	1か所 (H29年度モデル事業)	2か所 (R5年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)

周産期医療対策	
---------	--

施策の方向性(大項目)	目標					
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定期(時点)	第7次計画期間内での最新値(時点)	目標値(時点)
妊婦の健康管理	① 出産後の妊娠届出件数	こどもみらい課調査	7件 (H28年度)	4件 (R5年度)	減少 (R5年度)	改善 (目標達成)
周産期医療体制の充実・強化	② 総合周産期母子医療センターNICU死亡割合(構成率)	周産期母子医療センターネットワークデータベース	3.6% (H22年～26年)	5.0% (H29年～R3年) 全国平均:5.4%	全国平均以下 (R5年度) ※過去5年平均比較	改善 (目標達成)
	③ 乳児死亡率(出生千対)	人口動態調査(厚生労働省)	2.1 (H24年～28年)	2.3 (R元年～R5年) 全国平均1.8	全国平均以下 (R5年度) ※過去5年平均比較	悪化
	④ 新生児死亡率(出生千対)	人口動態調査(厚生労働省)	1.2 (H24年～28年)	1.3 (R元年～R5年) 全国平均0.8	全国平均以下 (R5年度) ※過去5年平均比較	悪化
	⑤ 周産期死亡率(出生千対)	人口動態調査(厚生労働省)	3.6 (H24年～28年)	3.9 (R元年～R5年) 全国平均3.3	全国平均以下 (R5年度) ※過去5年平均比較	悪化
	⑥ 極低出生体重児(1,500グラム未満)出生割合(構成率)	人口動態調査(厚生労働省)	0.69% (H24年～28年)	0.79% (R元年～R5年) 全国平均:0.75%	全国平均以下 (R5年度) ※過去5年平均比較	悪化
	⑦ 超低出生体重児(1,000グラム未満)出生割合(構成率)	人口動態調査(厚生労働省)	0.26% (H24年～28年)	0.37% (H元年～R5年) 全国平均:0.31%	全国平均以下 (R5年度) ※過去5年平均比較	悪化

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
		⑧ 周産期母子医療センターにおける精神疾患を合併した妊婦への適切な医療を提供するための連携体制の整備状況	医療薬務課調査	4施設 (H29年4月1日)	全施設 (5施設) (R5年4月1日)	全施設 (R5年度)	改善 (目標達成)
周産期医療体制の充実・強化		⑨ 総合周産期母子医療センターの臨床心理士等のコメディカルの配置数	医療薬務課調査	4人 (他、あすなろ療育福祉センターから派遣2人) (H29年4月1日)	2人 (他、あすなろ療育福祉センターから派遣2人) (R5年4月1日)	増加 (R5年度) ※前年度比較	悪化
搬送体制の充実		⑩ 救急搬送マニュアルを活用した新生児救急搬送割合	医療薬務課調査	85.0% (118/139) (H27年度)	97.1% (99/102) (R5年度)	増加 (R5年度) ※前年度比較	改善 (目標達成)
周産期医療従事者の確保		⑪ 分娩を取扱う医師数(実数、15～49歳女性10万対)	医療施設調査 (厚生労働省)	○一般診療所+病院 実数:82.5人 15～49歳女性10万対: <u>33.8人</u>  ·一般診療所 実数:22.0人 15～49歳女性10万対: <u>9.0人</u>  ·病院 実数:60.5人 15～49歳女性10万対: <u>24.8人</u> (H26年)	○一般診療所+病院 実数: <u>73.4人</u> 15～49歳女性10万対: <u>38.2人</u> 全国平均: <u>37.3人</u>  ·一般診療所 実数: <u>14.3人</u> 15～49歳女性10万対: <u>7.4人</u> 全国平均: <u>8.3人</u>  ·病院 実数: <u>59.1人</u> 15～49歳女性10万対: <u>30.7人</u> 全国平均: <u>29.0人</u> (R5年)	全国平均を目指した増加 (R5年度)※15～49歳女性10万対人数	改善 (目標達成)

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
周産期医療従事者の確保		⑫ 分娩を取扱う助産師数(実数、15～49歳女性10万対)	医療施設調査 衛生行政報告例 (厚生労働省)	○一般診療所＋病院 実数:231.0人 15～49歳女性10万対: <u>94.6人</u>  ・一般診療所 実数:30.1人 15～49歳女性10万対: <u>12.3人</u>  ・病院 実数:200.9人 15～49歳女性10万対: <u>82.3人</u>  <b>【参考】</b> 就業助産師数 実数:318人 15～49歳女性10万対: <u>130.3人</u> (H26年)	○一般診療所＋病院 実数: <b>237.4人</b> <b>15～49歳女性10万対:</b> <u>123.5人</u> 全国平均: <b>103.5人</b>  ・一般診療所 実数: <b>33.1人</b> 15～49歳女性10万対: <u>17.2人</u> 全国平均: <b>26.1人</b>  ・病院 実数: <b>204.3人</b> 15～49歳女性10万対: <u>106.3人</u> 全国平均: <b>77.5人</b> (R5年)  <b>【参考】</b> 就業助産師数 実数: <b>340人</b> 15～49歳女性10万対: <u>176.9人</u> 全国平均: <b>160.4人</b> (R4年) ※隔年報のためR5年はなし	全国平均を目指した増加 (R5年度) ※15～49歳女性10万対 人数	改善 (目標達成)
		⑬ 総合周産期母子医療センターNICU専任医師数	周産期母子医療セ ンターネットワークデータ ベース	実数:6人 NICU15床あたり:6人 (H29年)	実数:7人 NICU15床あたり:7人 全国7.6人 (R5年4月1日)	全国平均を目指した増加 (R5年度) ※NICU15床あたり人数	改善 (目標未達成)

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
周産期医療従事者確保		⑭ 日本周産期・新生児医学会専門医数	日本新生児成育学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新生児専門医数 実数:1人 15~49歳女性10万対: 0.4人</li> <li>○母体・胎児専門医数 実数:3人 15~49歳女性10万対: 1.3人 (H28年10月31日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新生児専門医数 実数:4人 15~49歳女性10万対: 2.0人 全国平均:4.7人</li> <li>○母体・胎児専門医数 実数:10人 15~49歳女性10万対: 4.9人 全国平均:6.6人 (R5年12月20日)</li> </ul>	全国平均を目指した増加 (R5年度) 15~49歳女性10万対人 数	改善 (目標未達成)

小児医療対策

施策の方向性(大項目)	小項目	目標					
		目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
1 小児救急に係る普及啓発、相談支援の推進		① 小児救急電話相談の相談件数(小児人口10万人あたり)	都道府県調査	小児人口 10万人あたり 3,418件 (H27年度) (実相談件数 /県内小児人口 *10万人)	小児人口 10万人あたり 9,979件 (R5年度) (実相談件数 /県内小児人口 *10万人)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)
				【参考】 実相談件数 5,369件 (H27年度)	【参考】 実相談件数 <u>12,460件</u> (R5年度)		
2 小児医療体制の確保		② 乳児死亡率(出生千対)	人口動態調査	<u>2.1</u> (H24年～H28年の平均値)	<u>2.27</u> (令和元年～R5年の平均値)	現状維持 (R5年度) ※過去5年平均の比較	悪化
		③ 小児科標榜診療所及び小児医療に係る病院に勤務する医師数(総数)(常勤換算)	医療施設調査	<u>149.1人</u> (H26年)	<u>147.0人</u> (R2年)	増加 (R5年度)	悪化
		④ 小児科標榜診療所及び小児医療に係る病院に勤務する医師数(小児人口10万人あたり)	医療施設調査	<u>92.4人</u> (H26年)	<u>107.9人</u> (R2年)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)
					【参考】 医師・歯科医師・薬剤師 統計 <u>140人</u> (R4年)		
					【参考】 医師・歯科医師・薬剤師 統計 <u>113.8人</u> (R4年)		

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
3 療養、療育支援が可能な体制の確保		⑤ 小児に対応している訪問看護ステーション数  ※指定小児慢性特定疾病医療機関(訪問看護事業者)数	県医療薬務課調べ	30施設 (H29年)	48施設 (R5.10.1時点)	増加 (R5.10.1時点)	改善 (目標達成)

在宅医療対策							
施策の方向性(大項目)	小項目	目標					
		目標項目	現状値の出典	策定期 (時点)	第7次計画期間内での 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
退院支援	① 退院支援担当者を配置している医療機関数	医療施設調査	44か所 (H26年度)	47か所 (R5年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)	
日常の療養支援	② 訪問診療を実施している医療機関数	NDB (ナショナルデータベース)	212か所 (H27年度)	135か所+α (R5年度) ※注1  参考:医療施設調査 152か所 (R2年)	現状維持 (R5年度)	悪化	
	③ 訪問看護ステーション従事者数	介護サービス施設・事業所調査	589.4人 (H27年度)	947.0人 (R5年度)	712人 (R5年度)	改善 (目標達成)	
	④ 訪問診療を受けた患者数(レセプト件数)	NDB (ナショナルデータベース)	52,033件 (H27年度)	65,660件+α (R5年度) ※注1	61,181件 (R5年度)	改善 (目標達成)	
	⑤ 歯科訪問診療を実施している診療所数	現状値:NDB 策定期:医療施設調査結果を厚労省が特別集計した	114か所 (H26年度)	154か所+α (R5年度) NDB ※注1	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)	
	⑥ 訪問薬剤管理指導を実施する事業所数(介護保険分)	介護DB	153か所 (H27年度)	263か所+α (R5年度) ※注1	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)	
	⑦ 在宅療養後方支援病院数	診療報酬施設基準	2か所 (H27年度)	7か所 (R5年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)	

施策の方向性(大項目)	目標						
	小項目	目標項目	現状値の出典	策定時 (時点)	第7次計画期間内の 最新値(時点)	目標値 (時点)	進捗状況
急変時の対応		⑧ 24時間体制を取っている訪問看護ステーション従事者数	介護サービス施設・事業所調査	484.3人 (H27年度)	884.0人 (R5年度)	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)
看取り		⑨ 看取り数(死亡診断のみの場合を含む)	NDB (ナショナルデータベース)	1,455件 (H27年度)	2,817件+ $\alpha$ (R5年度) ※注1	増加 (R5年度)	改善 (目標達成)

※注1:市町村の集計値が3未満(0を除く。)の場合は数値が秘匿となっており、県合計値は算出できないようになっているが、公開されている数値をもって評価する。